

氏名	井原 寛子	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	血液学、腫瘍学、細胞検査学				
学位	博士（医学）				
学歴	東京医科歯科大学大学院医歯薬総合研究科博士課程修了				
経歴	慶応義塾大学医学部放射線科学教室共同研究員				
所属学会（役職）	日本癌学会、日本検査血液学会、日本血液学会、日本臨床細胞学会、日本臨床検査医学会、日本放射線腫瘍学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績									
(1) 著作									
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月	
1	該当なし								
(2) 論文									
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名		発表等年月	
1	該当なし								
(3) 学会発表									
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）			発表等年月	
1	該当なし								
(4) その他									
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）			発表等年月	
1	該当なし								
2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1	該当なし								
3. 教育業績									
(1) 講義									
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）					
1	血液学概論	○	8	血液学の基礎として、造血の仕組みや、血球の種類と機能、凝固・線溶の流れについて講義した。					
2	血液学	○	16	主に血液学的検査（主に形態検査）と血液疾患（貧血、白血病等）について講義した。					
3	臨床腫瘍学	○	8	腫瘍細胞のstemness関連実験、疫学調査や分子標的療法薬に関する論文を紹介し、問題提起と問題解決に向けたディスカッションを行った。非常勤講師が勤務する病院見学の機会を設けがん治療現場の理解に努めた。					
4	臨床検査学概論		1	血液学分野の概論を担当し、次年度以降に行われる血液学について1年生にも興味を持てるような話題を交えて講義を行った。					
5	病因病態検査学		2	大学院博士前期課程の講義で血液学分野を分担した。対面で実施した。					
6	医療安全管理学		1	2年生に対し検体採取法（採血法）についての講義を分担した。対面で実施した。					

（２）演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	検査総合演習		2	4年生の国家試験に向け、血液学、染色体検査学のまとめの講義を行った。対面で実施した。		
2	健康福祉科学演習（病因病態検査学）	○	16	大学院博士前期課程の学生の病因病態検査学関連演習に関して、取りまとめた。		
3	臨床検査基礎演習		6	今後学ぶ血液学に関心を持ってもらうことを目的に、模型を使用した採血や血液塗抹標本の鏡検を行った。		
4	医療安全管理学演習		8	血液学実習未履修の2年生に対し、検体採取法の一つとして、採血実習を実施した。少人数で指導できるようグループ分けし、安全かつ正しい手順で採血ができるようデモやビデオを多用しながら実施した。		
（３）実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	血液学実習Ⅰ	○	23	初めての採血実習を安全かつ正確に実施できるよう、デモ、ビデオなどを多用しながら進めた。実習は主に形態学的検査を扱った。		
2	血液学実習Ⅱ	○	23	凝固・線溶系について、各検査や疾患の繋がりを把握できるよう講義と実習を行った。また、臨地実習に向け、前期実習内容の確認も行った。		
3	遺伝子・染色体検査学実習（新カリ）		7	3年生に対し、染色体検査実習を実施、末梢血採血、単核球培養、染色体標本作成、染色体解析を実施した。また非常勤講師とともに、複数の症例の染色体写真を用いて、実染色体解析を行った。		
4	遺伝子・染色体検査学実習（旧カリ）	○	7	4年生に対し、染色体検査実習を実施、末梢血採血、単核球培養、染色体標本作成、染色体解析を実施した。また非常勤講師とともに、複数の症例の染色体写真を用いて、実染色体解析を行った。		
5	臨床検査技能実習		8	臨地実習前の技能試験の血液学分野についてOSCE形式で血球計数検査（前半）、塗抹標本作成を、筆記試験形式で、血球計数検査（後半）白血球分画、普通染色を実施した。		
6	臨地実習		2024.12-2025.3	臨地実習施設担当として、2施設2名ずつ、計4名の学生の臨地実習をサポートした。		
7	IPW実習		2024.4-2024.10	科目担当者として、1チーム6名の学生を担当し、病院での実習をファシリテートした。		
（４）論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2024.4-2024.12	主指導	4名	副指導	名
2	修士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員）	4名
（５）その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	大学院前期課程論文審査	2025.2	大学院前期課程の論文審査において主査として1名の審査を行った			
2	東京医科歯科大学大学院 非常勤講師	2024.4-2025.3	大学院の教育研究			
3	タスクシフト・シェア講習会	2024.8	4年生に対し、厚労大臣指定講習であるタスクシフト・シェア講習会を実施した。専攻教員で分担し、特に静脈路確保、造影剤注入に関する項目を担当した。			

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ生命科学体験講座	専攻	①血液1滴からわかること ②魚の標本をつくろう（小学生高学年対象、対面実施）	2024.7. 26, 2024.7. 30
2	三井記念病院中央検査部研修会 講演	三井記念病院中央検査部	Z世代と教育－大学における昨今の学生教育について－	2024.9.26
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本臨床検査学教育協議会	議決権者・連絡担当		2024.4-2025.3
2	日本保健医療福祉連携教育学会	第17回学術集会実行委員		2024.4-2025.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携教育研修（IPE）センター		2024.4-2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会		2024.4-2025.3
3	学科等における委員会等	教務担当		2024.4-2025.3
4	学科等における委員会等	1年次学年担任		2024.4-2025.3
5	学科等における委員会等	4年次（卒研担当学生4名）担任		2024.4-2025.3
6	学科等における委員会等	新カリ臨地実習施設調整担当		2024.4-2025.3
7	大学広報活動	オープンキャンパスにおける模擬講義、実習実施		2022.8-
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			